

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：10/21～10/25

### ・10/21(月)

曹国前法相の妻に逮捕状、令和の皇室などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題と考えられる場面は見られませんでした。また、令和の、については検証者の所感を記しました。

### ・10/22(火)

即位礼正殿の儀などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題と考えられる場面は見られませんでした。また即位礼正殿の儀については検証者の所感を記しました。

### ・10/23(水)

韓国李首相が来日、国会論戦、林鄭月娥行政長官の進退、香港政府が逃亡犯条例を正式撤回などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会論戦については放送法の観点から問題と見られる箇所がありました。

### ・10/24(木)

菅原経産相の公選法違反疑惑、日韓関係などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題と考えられる場面は見られませんでした。なお、日韓関係については検証者の所感を記しました。

### ・10/25(金)

菅原経産相の公選法違反疑惑などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題と考えられる場面は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月21日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 村木祐輔（気象予報士）		
検証テーマ：曹国前法相の妻に逮捕状、令和の皇室		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風19号</li> <li>・また台風が接近中</li> <li>・ラグビーW杯</li> <li>・千葉県流山市の第三者委員会</li> <li>・元KAT-TUNの田口被告らに有罪判決</li> <li>・福岡県太宰府市の駐車場に女性遺体が発見され3人を逮捕</li> <li>・山梨キャンプ場女児不明から一ヶ月</li> <li>・客を殴った疑いでホストを逮捕</li> <li>・曹国前法相の妻に逮捕状</li> <li>・オーストラリアビクトリア州で崖っぷちの犬の救助劇</li> <li>・令和の皇室</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#ラグビー旋風</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曹国前法相の妻に逮捕状：結論→特に問題なし ナレーションによって「韓国の検察は曹国前法相の妻に逮捕状を請求しました。曹氏の妻はこれまでに7回、検察に出頭していてファンドへの不透明な投資や娘の進学のために表彰状を偽造したなど10件の容疑が持たれています。」とのが伝えられた。このトピックに当てられた時間は24秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> <li>・令和の皇室：結論→特に問題なし 小川キャスターの「明日皇居では天皇陛下の即位に伴う行事が行われます、準備が進められているんですが令和の時代に天皇皇后両陛下はどのような皇室を築いていかれるのでしょうか。」というコメントを受けて以下に朱記したやり取りが取り上げられた。 ナレ「今日夕方、中国の王岐山国家副主席が羽田空港に到着、即位に関する一連の儀式には180以上の国の要人を含めおよそ2000人が参列する予定で各国の首脳が次々と来日されています。パレードは来月10日に延期されましたが、皇居にはひと足早くお祝いに駆けつける人たちも。」 福岡から来た女性「明日のパレードを見に来たんですけども来た途端に中止って聞きましたから。」 "ナレ「明日の儀式を前に都内では厳重な警備体制も敷かれています。」</li> </ul>		

岩井宏暁「午後七時前の皇居前ですが明日に備え、多くの警察官が見られます。」

ナレ「全国から応援の警察官が集結、明日は最大でおよそ 26000 人体制で警戒に当たります。また、東京メトロは今日から一部の駅でコインロッカーを封鎖するなどしています。皇居では明日午後、即位を国内外に宣言する即位礼正殿の儀、夜には祝宴に当たる饗宴の儀が行われる予定です。明日、即位に伴う儀式に臨まれる両陛下、これまで皇太子ご夫妻の時代から社会的に弱い立場にある人々に心を寄せられてきました。それは国内の問題だけにとどまりません。」

"皇太子殿下（2016 年当時）「テロや貧困、難民の増加などの問題が大きな影を落としており、このような問題の解決に向けて国際社会が協力していくことが求められています。」

ナレ「雅子様もかつて」

雅子様（1997 年）「世界の様々な問題や、また将来に渡って人類にとっての問題となってくるような問題について世界各国の人々が手を携えて取り組んでいかなければならない時代にあると思います。」

"ナレ「そうした、両陛下の考えに直接触れてきた人がいます。国連の難民支援機関のトップを務めるフィリップ・グランディ氏です。」

小川彩佳「両陛下がどんな方々なのか具体的なエピソードをお聞かせいただけますか。」

フィリップ・グランディ氏（国連難民高等弁務官）「これまで数多くの国家元首や高官など、国を代表する人達に会ってきましたが、あのように慎み深く人々に晋に心を寄せる方はめったにいません。」

ナレ「2016 年に国連難民高等弁務官に就任したグランディ氏はそれ以降、来日の際、陛下に度々招かれ難民の現状を伝えてきました。その回数は三年間で四回。」

グランディ氏「シリアの難民問題やバングラデシュに逃れたミャンマー難民、お二人はとても強く心を寄せておられた、難民たちが暴力や剥奪から逃れている状況をお話するたびにお二人は心を痛められていました。」

ナレ「難民問題のやり取りの中で陛下が特に関心を寄せられた事がありました。」

グランディ氏「陛下は問題の背景、救援活動、可能な解決策に大きな関心を持っていました。いつも、難民の人々がどうしているのかを気にかけていました。人々が問題にどう立ち向かい生きているのかを知りたがっていたのです、強く印象に残っているのがあのような地位にいる人が人々に大変関心をお持ちだったことです。」

ナレ「難民一人ひとりの境遇を気かけられた陛下。ライフワークである水問題の研究の原点にあるのも人への眼差しです。僅かな水を求め列をなす女性や子どもたち、1987 年、ネパールを訪問した陛下が自ら撮影された写真です。」

皇太子殿下（2007 年）「水くみをするのに一体どのくらいの時間がかかるのだろうか。女性や子供が多いな、本当に大変だな、と。」

"ナレ「この光景をきっかけに水問題の関心をより深めた陛下は国連で公演を行うなど、発信を続けられてきました。グランディ氏とも難民をめぐる水の問題について議論を交わされたといいます、」

グランディ氏「水はおそらく苦難の中にいる人々にとって最優先で必要なものです、きれいな水、衛生設備、飲料水の確保なども議論しました。」

ナレ「一方でグランディ氏は両陛下が自らの在り方を模索されている様子も感じたといいます。」

グランディ氏「どういう形で貢献できるか、支援することでなのか、良い行動の象徴となることでなのか、それが私との会話でお二人が求められていた事だと思います。」

皇太子殿下（2018年）「象徴としてのあり方を求めていく中で、社会の変化に応じた形でそれに対応した務めを考え、行動していくこともその次代の皇室の役割だと思います。」

ナレ「平成の時代、被災地訪問や戦没者慰霊などを大切な務めとし、国民とともにある皇室を体現されてきた上皇ご夫妻、続く令和の時代、陛下は皇后様とともに新たな象徴としての姿を築かれていくことになります。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「上皇ご夫妻は膝をつかれて被災地を回られる姿というのは非常に印象的でしたけれども、そうした平成の時代に築かれていった国民に寄り添う天皇像を引き継がれながら国境を超えて取り組んでいくことがより大切になっていく課題が多いこの令和の時代には、世界の人々にもより目をむかれていかれる、そういった新たな姿を天皇皇后両陛下は示していかれるのかな、と、そうした予感を感じさせるグランディさんのお話だったんですけれども、時代に合わせてこうして変化していく姿というのがある一方で、明日から行われる一連の行事というのは前例を踏襲する形となっているんですね。」

星浩「そうですね、即位の式典をどういう形で行うかというのは非常に大事なことなんですよ、今の憲法で二回目の即位になるんですけれども29年前はなるべくその宗教色を廃すとか戦前の天皇主権の時代から国民主権に変わったんだからその形に合わせようとかいう努力が行われたんですね、例えば総理大臣の万歳の唱和があるんですけれどもそれもですね、即位を祝してという言葉をつけ加えて、限定的にしようという努力もあったんですね、まあ政府は今回ですね、あんまり本格的な議論は避けて前例踏襲ということなんですけれどもやはり国民の中の、国民あつての天皇なんだ、天皇制なんだと言うことを前にどんどん進めてもらいたいと思いますね。それからあの、29年前は当時の陛下は憲法を遵守すると表明されたんですけれども、明日のお言葉で新しい天皇がどういう言い方を憲法についてされるか、そのへんも注目だと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・特になし

検証者所感

- ・令和の皇室

スタジオでの小川キャスターや星キャスターは今回の一連の行事が前例を踏襲する形となっていることや不満そうな印象を受けたが、同じ憲法のもとでの前例があるのであれば、それを踏襲するというのはそれほどおかしいことではなく、むしろそこで改めて本格的な議論をする必要があるのだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月22日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 禅野靖司(天皇陛下のご学友)、		
検証テーマ：即位礼正殿の儀		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・即位礼正殿の儀</li> <li>・上陸から10日の台風19号</li> <li>・旧日本海軍の空母が相次いで発見される</li> <li>・伊勢湾岸線で交通事故</li> <li>・富士山で初冠雪</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・即位礼正殿の儀</li> </ul> <p>スタジオでの小川キャスターの「今日は特別な一日となりました。天皇陛下は今日、国の内外に即位したことを宣言されました、現在は祝宴に当たる饗宴の儀が開かれているところなのですが、皇居前の村瀬さんお願いします。」というコメントを受けて以下に朱記した中継及びVTRが取り上げられていた。</p> <p>村瀬健介「はい、今ご覧いただいているのが皇居の二重橋です、この右手奥にあります皇居宮殿で現在も饗宴の儀が続いています。いまは天皇皇后両陛下との挨拶を終えた各国の大統領や王族らがこの二重橋を渡りまして、次々と外に出てきているとことです、それでは今日の歴史的な一日を振り返ります。」</p> <p>ナレ「沿道からの感性に笑顔で答えられた天皇皇后両陛下、皇居宮殿で午後ご自治時半ごろから祝宴に当たる饗宴の儀が行われています、これは天皇陛下の即位を披露して祝福を受けられるためのものです、陛下は燕尾服に勲章、皇后様は歴代の皇后に受け継がれてきたティアラにロングドレス姿で臨まれました。歴史的な一日となった今日。」</p> <p>"品田亮太（報告）「いま、陛下を載せた車が到着されました。」</p> <p>ナレ「午前八時過ぎ、陛下は皇位の印である剣と勾玉とともに皇居に到着されました。午前九時過ぎに行われたのは即位礼当日賢所大前の儀、これは即位礼を行うことを皇室の祖先神とされる天照大神に報告する儀式です。陛下は帛御袍とよばれる格式の高い白の装束姿で賢所を参拝されました。賢所は非公開ですが中は3つの部屋に分かれているといひます。入ってすぐの部屋は外陣、皇族の方々が入室できます、次の部屋は天皇皇后両陛下のみが入れる内陣です。陛下はここで中央に置かれた御畳に座り、拝礼されます。そして、御簾で隔てられた聖域、内内陣にあるご神体に向かって、今日即位礼を行うことを報告されたのです。陛下に続き十二単姿の皇后様も賢所を参拝されました。このあと両陛下は即位礼の準備に入られましたが、その頃皇居周辺では。」"</p> <p>"村瀬健介（報告）「ええ、こちらの道はですね、この先、霞ヶ関を通りまして皇居に繋がっているんですけども、ご覧の通り、完全に閉鎖されています。先には機動隊のバスが停まっています。」</p>		

ナレ「今日、東京都内には全国からの応援の警察官およそ 5500 人を含む 26000 人の警察官が集結、警視総監をトップとする最高警備本部を 20 年ぶりに立ち上げて警備に当たりました。午後一時からの即位礼正殿の儀には各国の代表も参列、滞在先のホテルから皇居へ次々と出発していきました。」 "

"村瀬健介「いまこちら、各国代表団出発していますけど、こちらには 30 もの代表団が泊まっていますのでまさに分刻み秒刻みの複雑なオペレーションになっています。」

ナレ「各国の代表団が時間通りに出発できるよう、車列は出発順に止められていましたが、こんな場面も。」

案内「これ一回下げて、ザンビアこれを下げる、下げる。」

村瀬健介「ええ、いま、ちょっと車列の順番で混乱が起きています。車列の順番を入れ替えるということですね、車が下げられています。」

ナレ「そして正午ごろ、皇居には参列者が続々と入りました。出席するのは国内外合わせておよそ 2000 人、イギリスのチャールズ皇太子やスペインの国王フェリペ六世の姿も。世界 191 の国と機関などの代表が出席しました。このあと、宮殿で最も格式の高い正殿松の間で行われた即位礼正殿の儀。これは天皇が日本の内外に即位を宣言するもので、一連の儀式の中心となります。古式ゆかしい伝統衣装を見をつつんだ講師の秋篠宮様を始め、紀子様や長女の眞子様を始め、皇族方が続々と入られました。本来中庭には平安時代の武者姿をした宮内庁職員らが並ぶ予定でしたが雨のため建物の中で控えます。迎えた午後一時過ぎ、雨は上がり青空も見えました。鐘の音を合図に天皇の玉座、高御座の帳がゆっくりと開かれました。陛下が着用されているのは天皇にだけ許された黄櫨染御袍です。太陽が最も高く登ったときの色とされています。一方、皇后様は十二単姿。そして、陛下が即位を宣言されました。」

天皇陛下「即位礼正殿の儀を行い、即位を内外に宣明いたします。ここに、国民の幸せと世界の平和を常に願い国民に寄り添いながら憲法に則り日本国および日本国民統合の象徴としてのつとめを果たすことを誓います。」 "

"ナレ「続いて、安倍総理が祝いの言葉を述べたあと、万歳三唱を行います。」

安倍総理「御即位を祝し、天皇陛下、万歳、」

ナレ「この万歳三唱、安倍総理は天皇と同じ松の間で行いましたが、実は唱和の即位の礼では違ったやり方でした、当時は一段低い中庭に立って行われたのです。平成から今回と同じ、松の間で行うようになりました。」

海部首相（1990 年当時）「御即位を祝して天皇陛下万歳」

ナレ「やり方を変えたのは主権があるのは天皇ではなく国民であること、更に総理は天皇の臣下ではないことを示すためです。正殿の議に参加した人は。」

林真理子氏（作家）「非常に厳粛な感じでした。源氏物語を書いているものですから、ああ平安の時代がそのままだなという感じでちょっとびっくりいたしましたですね。」

王貞治氏「普段あんまり感じない日本のね、良さというのを改めて感じましたね。」

中西進（令和の考案者とされる）「陛下がお話になるときにはかーッと日が照ってきましてね素晴らしい日本の未来を思わせるようにとってもいい雰囲気になりました。」

ナレ「祝賀ムードに包まれた日本列島、岐阜市にある金神社には早朝から行列ができていました。目当ては今日限定の金色の御朱印。」

御朱印をもらった人「三時くらいから並んでいました。こういう日にもらうことはもしかしたらもうないかもしれないので。」 "

ナレ「海上自衛隊は祝意を示すため、鑑定で満艦飾を行いました。富士河口湖町では令和を記念して作られた重さ 200 キロもの大太鼓が披露されました。厳かに行われた即位の礼、その儀式の中で陛下が繰り返し使われたある言葉があります。」

中継・VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが取り上げられた。

"小川彩佳「ここでゲストのご紹介をします、スタジオには禅野靖司さんにお越しいただきました、よろしくおねがい致します。」

禅野靖司「よろしくお願いいいたします。」

小川彩佳「禅野さんは天皇陛下と学習院中等科の御学友でいらっしゃるその後も長年に渡ってご交友があるということですのでもちろんなみになんて及びになっているんですか、陛下のことは。」

禅野靖司「あの、今は殿下またはこれからは陛下とお呼びしますがそれでも中等科の時代はですね、普通の、あのみんな宮様と呼んでいたんですね。ただ実はあだ名があって、じいというふうには。」

小川彩佳「じい、じいですか。」

禅野靖司「これは、何かあの御趣味が盆栽がお好きだということお話になったことがあって、それでみんなでじくさいから、」

小川彩佳「じくさいのじいだったんですか。」

禅野靖司「でも本当にやっぱり、あのお気を悪くなくならず、もうユーモアのある方なので、それで中等科の卒業式のあとの謝恩会でですね、G 線上のエリアをお弾きになったんです。」

小川彩佳「そんな一面もある陛下。今日の即位まではどのようにご覧になりましたか？」

禅野靖司「そうですね、あの、やはりあの、高御座というんでしょうか、幕が開きましたときにはやっぱりあのワタクシまで思わず緊張してしまっただけなんですけれども陛下がいつもと変わらず本当に穏やかでまた晴れやかな笑みをね、笑みといいいますか表情を浮かべていらっしゃるいましてあの本当に嬉しく懐かしく拝見いたしました。」

小川彩佳「その即位の礼、天皇陛下は 2 分弱のお言葉を述べられたんですけどもそこに陛下はどんな思いを込められたんでしょうか。お言葉ににじむ陛下の理想の天皇像を作家の保阪正康さんとともに読み解いてまいります。」 "

スタジオでのやり取りを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「国内外の要人たちが皇居、松の間に向かう中に制服を着た少女の姿がありました。高校一年生の相良倫子さんです。」

"相良倫子「心から誓う、私が生きている限りこんなにもたくさんの命を犠牲にした戦争を絶対に許さないことを。」

ナレ「去年、沖縄全戦没者追悼式で平和の詩を朗読したことがきっかけで正殿の儀に招待されました。」

相良倫子「本当に平和を希求する思いが強くて現れていたなと思って、本当に令和の時代を平和にしていく、決意が本当に、なんていうんだろう、感じられて、とても素敵な言葉だなと思いました。」 "

"天皇陛下「我が国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを切に希望いたします。」

ナレ「即位礼正殿の儀でお言葉を述べられた天皇陛下、上皇ご夫妻とも交流がある作家の保阪正康氏は。」 "

"保阪正康氏（ノンフィクション作家）「短い文章の中に、ご自身の本当の期 m 地を表す言葉を選択して入れていると思うんですよ。」

ナレ「天皇陛下が繰り返されたある言葉に注目します。」

天皇陛下「上皇陛下が 30 年以上に渡る御在位の間、常に国民の幸せと世界の平和を願われ。」

ナレ「上皇様が常に国民の幸せと世界の平和を願われてきたと述べられた天皇陛下、そしてご自身については。」

天皇陛下「ここに国民の幸せと世界の平和を常に願い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国および日本国民統合の象徴としての勤めを果たすことを誓います。」

保阪正康「国民の幸せと世界の平和を常に願い、と同じ、ほぼ同じ言葉を浸かっているんですね、繰り返すことによってこの言葉は大事であり、この言葉で私達は先帝、平成の天皇と令和の天皇は連続性を持っているんですよということを言っているんですね、で同時に国民に寄り添いながらという新しい言葉が加わっているんです、この部分にはまあ単なる歴史の継承の他にもっと広がりを持った国民へのよびかけの意味もあるかなあと私は思います。改めて国民とともにということをこうご自身の決意ですね、それを明確に述べられているというふうに思いますね。」

ナレ「国民に寄り添う皇室、お二人はそんな思いをかねてから体现されてきました。去年 8 月、神戸市の病院を訪問された際には。」

"ナレ「子どもたちと目線を合わせ、優しく言葉をかけられていました。更にお二人の思いを垣間見ることができる一幕が、今年 6 月、揃って参加された全国植樹祭。上皇ご夫妻も去年まで参加されてきたものです。当時、上皇ご夫妻はレセプション会場で金屏風の前で招待客を待ち受け、言葉をかわされていましたが、しかし、今年両陛下は乾杯の後、自ら招待客の中に歩み入り、歓談されていました。今年 2 月の会見では、

皇太子殿下（当時）「古くからの伝統をしっかりと引き継いでいくとともに、それぞれの時代に応じて求められる皇室のあり方を追い求めていきたいと思います。」

ナレ「時代に即した皇室の在り方に言及された陛下、保坂氏は今日陛下が繰り返された世界の平和というお言葉にも令和時代の天皇像が見えてくると話します。」

保阪正康「これからの天皇はどうあるべきかに行ったときに好むと好まざるとにかかわらずグローバリズム、平成の天皇の段階からちょっとやっぱり時代が進んでいる、天皇という立場でお考えになっているのが日本国内を中心とするのではなくて日本国とそれからグローバリズム化の国際社会とのその折衷点を、結びつきのところをですね、模索していく意味だと思いますね、ある意味で言えば一国ナショナリズムというのを離れてですね、人類史という立場で物を見る、皇室の役割は今後そこにもあるんじゃないかと私は考えますね。」

VTR を受けて再度スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「どんな天皇皇后両陛下となられていくのか、学習院の御学友の禪野さんは葉山で一緒に宿泊されたりですとか登山と一緒にされたということもあるということですが、陛下はどんなお方なんですか。」

禪野靖司「そうですね、陛下のお人柄といいますと、やはりまずは本当に周りの方に気配りをされるという優しい方という印象が強いですけれども、あの、それと同時にですね、本当に先程もちょっと言いましたけれどもユーモアのセンスがお有りになって、そして気さくで明るい方、楽しい方という印象を持っております。」

小川彩佳「周りに向けての気配りもされる方でいらっしゃる。」

禪野靖司「そうですね、あの、今日のね、正殿の儀でもチャールズ皇太子のお姿を拝見したんですけれども、そ



れで思い出しましたのが、あの陛下のお話くださったことの一つにちょうど 1991 年だったと思うんですけども、あの、ロンドンでジャパンフェスティバルというのが開かれてそれに陛下が出た、というかご臨席なされた時の話。」

小川彩佳「そうですね、今映像が出ていますけれども、」

榊野靖司「そうですね、ちょうどこのときのことですね、それで帰国されてからのお話なんですけれどもちょうどイベントの一環として講演で多分ハイバックかなんかだと思うんですけども日本から来た方たちがその盆踊りを披露されていた、と、そのときに根底にご臨席されていたチャールズ皇太子が飛び入りでいきなり盆踊りの場に加わられたと、それにつられて陛下も一緒に踊ってしまったんだという話をあの本当に楽しそうにお話になっていたのを思い出しました。」

小川彩佳「本当に気さくでカジュアルな一面もお有りになる中でただゆくゆくは天皇陛下になられるというそういった立場でもいらっしゃったそのあたりの覚悟というようなものをお感じになったことはありますか。」

榊野靖司「そうですね、あの、もちろん、学校の学生時代にもそういうことを感じることも折々あったんですけども、やはり今日の正殿の儀を見て思い出したのがですね、もちろん陛下になるということには色んな意味があると思いますけれども一つは日本のですね、長い皇室の伝統を引き継がれていく、そのことに対する意識というのは昔からおありになったというのは私は感じております、で一つはこれは個人的な思い出というのでもありますけれども中等科の時代にいわゆる図画工作という授業があって私がなんかあの屏風絵の蜘蛛のようなデザインをしていたら、陛下がそれを見て、これは豊旗雲っていうんだよ、って宮中の呼び方を教えてください、もちろん私そんなの知らないから、今でも覚えているんですね、それからもっと後年の話になりますけど、陛下は明治以前の宮中で使われていた牛車、あの牛が引く車ですね、牛車のことを専門的に研究されたこともあって、やはりそのような日本の雅な伝統をですね、体現されるだけでなく実際に学び継承していくということを意識的にされてきている方だ、と。それはまた上皇陛下、上皇后陛下から受け継がれてきたなんではないかなというふうに拝察いたします。」

小川彩佳「脈々と受け継がれてきたものというのが星さん、あるんですね。」

星浩「今日のあの言葉ではですね、平和という言葉が三回使われているんですね、それから世界とか国際社会という言葉が続くんですけどもやはり国際協調の中での平和というのをこれからも続けていきたいなという気持ちがね、非常に国民に伝わってくる言葉だったと思いますね。」

榊野靖司「そうでございますね、はい。あの先ほどのビデオの保坂先生もおっしゃっていましたがグローバルということですね、あの令和の時代、ますますですね、それもまた一つの思い出を語らせていただくとですね、まだまだ愛子様が本当に小さかったときなんですけれども御所にお伺いしたときにですね、雅子様が愛子様を抱っこしてお出ましくださって、話をしているときに愛子様をあやそうとしたんでしょうけれども 10 人のインディアンという歌があるんですけどももともと英語の歌なんだと思うんですけどもそれを愛子様に雅子様がフランス語でお歌いになって、私は本当にびっくりしてあの、まあ雅子様が国際的なバックグラウンドをお持ちの方というのはもちろん知っていましたが、本当にそれが普通のことなんだ、またこういう家庭が両陛下がこれから世界に開いた家庭を築いていかれるんだな、とちょっと感動した思いがあります。」

小川彩佳「国際感覚を持った新たな天皇像というのを築いていかれるのかなというふうに思うんですけども、一方で星さん、課題というのは。」

"星浩「そうですね、とりわけやっぱり重い課題は皇位の継承ですよね悠仁さまに将来引き継がれた後どうなっていくのかなかなか見えてこないわけで、これは政治の過大なわけなんです、女性の天皇、女系天皇含めて、どういう象徴天皇の在り方を模索していくのか、これは早急に決めていく必要があると思いますね。」

小川彩佳「どう持続可能にしていくのかということですね、いずれにしても、天皇皇后両陛下この新しい時代にどのようなお姿を見せてくださるのかというのを本当に心躍る気持ちに今日はなりましたね、はい、禰野さんどうもありがとうございました。」

禰野靖司「ありがとうございました。」 "

また番組のクロージングではいかに朱記したやり取りが取り上げられた。

"小川彩佳「さて、先程皇居を出られた天皇皇后両陛下、赤坂御所に戻られたということでこちらがその映像ですね、柔らかな笑みを浮かべていらっしゃいますね、おふたりとも長い今日は一日だったと思いますけれども、柔らかな笑みを浮かべてそして沿道に答えていらっしゃいますね。」

星浩「雅子様は私ちょうど 30 年ほど前に外務省で取材をしたことがあるんですけどもその頃から抱いていらっしゃる国際交流に向けた思いをこれからも抱き続けて頑張っていたきたいと思いますね。」

小川彩佳「日本の働く女性たちにも大きな光を照らして下さるような気が致します。」 "

このトピックに当てられた時間は 1512 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・特に問題なし

検証者所感

- ・即位礼正殿の儀

保坂氏が「先帝」という言葉を発した後に「平成の天皇」と言い直したシーンがとても印象的だった。また、保坂氏の「これからの天皇はどうあるべきか」と行ったときに好むと好まざるとにかかわらずグローバリズム、平成の天皇の段階からちょっとやっぱり時代が進んでいる、天皇という立場でお考えになっているのが日本国内を中心とするのではなくて日本国とそれからグローバリズム化の国際社会とのその折衷点を、結びつきのところですね、模索していく意味だと思いますね、ある意味で言えば一国ナショナリズムというのを離れてですね、人類史という立場で物を見る、皇室の役割は今後そこにもあるんじゃないかと私は考えますね。」というコメントで、「人類史という立場で物を見る」という役割を「日本の皇室」にもとめていたが、そうした発想や完成というのは実は「八紘一宇」だとかに代表される昭和戦前期のナショナリズムと案外近い位置にあるのではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月23日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 田村優（ラグビー選手）		
検証テーマ：韓国李首相が来日、国会論戦、林鄭月娥行政長官の進退、香港政府が逃亡犯条例を正式撤回		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風19号</li> <li>・韓国李首相が来日</li> <li>・国会論戦</li> <li>・チュートリアルの徳井さんの申告漏れ</li> <li>・東京モーターショーがあす開幕</li> <li>・林鄭月娥行政長官の進退</li> <li>・香港政府が逃亡犯条例を正式撤回</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#給食のカレーを一時休止</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国李首相が来日：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「続いてのニュースに参ります、ムンジェイン政権ナンバーツーが来日してます、日韓関係の改善に向けた一歩となるのでしょうか。」というコメントに山本キャスターが「韓国の政界きつての知日派イナギョン首相が大統領の親書を携えて来日、明日の安倍総理との会談を前に、今日慶応大学の学生との交流で訴えたこととは。」と応えた後に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「東京新大久保のコリアンタウンに現れたのは韓国のイナギョン首相、ムンジェイン政権のナンバーツーです。向かった先は新大久保駅、18年前、ホームから線路に落ちた人を見て、関根史朗さんと韓国人の留学生イ・スヒョンさんがとっさに線路に飛び降りて助けようとしたものの三人とも電車にひかれて死亡する事故が起きた現場です。イナギョン首相は駅構内の慰霊碑に花を手向け、こう語りました。」</p> <p>イナギョン首相「人間の愛は国境を超えることを二人の偉人が実践しました。50年に満たない不幸な歴史のために1500年の交流の歴史に傷つけるべきでない。」"</p> <p>ナレ「ムンジェイン政権きつての知日派としても知られるイナギョン首相、韓国の大手新聞社の特派員として東京に勤務したこともあり、国会議員になった後は、韓日議員連盟の幹事長を務めていました。今日訪れたのは慶応大学のキャンパス、学生との対話に望み、極度に悪化した日韓関係の展望について語り合いました。」</p> <p>"イナギョン首相「昨日、羽田空港のタラップを降りるときにちょうど、強風が吹いて、私の傘が折れました。そのことで今回の来日には私に試練が訪れるものと覚悟したのです、しかし皆様もご存知のように天皇陛下の即位の儀式が始まる時間には空が晴れましたね、そして今日はまれに見る晴天です。」</p> <p>ナレ「未来志向と対話による問題解決の重要性を強調したイナギョン首相。学生からも活発に質問が飛びました。」</p> <p>慶応大学の学生「東京に駐在していた経験をお持ちということで、その際の経験で特に気をつけていらっしゃる</p>		

ことがあれば教えていただきたいです。」

イナギョン「日本で勤務した経験を十分にいかせているとはいいい切れませんが、バランスを取るのに役立っていると思います。大人同士の関係というものは相手に対する理解と配慮が求められますから。」

慶応大学の学生「韓国に関心があって、よく記事を読んだりするんですけども、そこに韓国で最近ソウルなどで大規模な集会、人々が集まって集会が行われているということを知りました、韓国に暮らしていらっしゃるみなさんが持っている今一番大きな関心ごとは何なのかという点を教えていただきたいです。」

イナギョン首相「やはり韓国の国民の関心は経済と生活です。いますぐ全ての問題を解決するのが難しいのであれば、まず、経済分野を政治分野から切り離す、経済は経済として解決できるようにすることから初めてはどうかと思っています。」

ナレ「最後は学生らと笑顔で記念写真に収まったイナギョン首相。自ら試練と語った今回の来日のハイライトは明日に予定されている安倍総理との会談です。韓国の聯合ニュースは即位にまつわる一連の儀式に招かれたイナギョン氏が昨夜の宴席で安倍総理と握手し、言葉をかわしたと報じています、安倍総理から久しぶりですね、明後日マタアイマシヨウと話したのに対し、イナギョン氏が明後日よろしくお願ひします、と応じたということです。ムンジェイン大統領からの親書を携えて望む会談で成果は期待できるのでしょうか。新書の内容について韓国の政府関係者は。」

韓国政府関係者「韓日関係の重要性と対話の必要性を訴え、対話の石があることを伝える。」

ナレ「韓国側には安倍総理とムン大統領が国際会議で同席する機会を捉え、首脳会談を探るべきとの考えもあります。」

ナレ「今日、日本から韓国への輸出が滞っていることについて問われた菅官房長官も、」

菅官房長官「日韓関係はいろんな問題がありますけれども重要な隣国でありますからそこはしっかり対応していきたいと思います。」

ナレ「知日派首相との会談は関係改善に向けた一歩となるのでしょうか。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「膠着状態がずっと続いている日韓関係ですけれども、これまでと違った変化がもたらされるのかどうか、このイナギョンの実効性というか可能性を星さんどうぞ覧になりますか。」

星浩「イナギョンサンハですね 30年ほど前、東亜日報の特派員をやっております、私その頃から友人なんですけれども、私も今回直接話を聞くことができましたんですけれども、明日の安倍総理との会談を日韓関係改善の第一歩にしたいと、加えてその徴用工問題などの接点をとにかく探りたいんだということを言っていましたね、それからあの、ムンジェイン大統領は弁護士で、どちらかと言うと理詰めの方なんですけれども、イナギョンさんはどっちかというね、お酒を飲みながら人を取り込んでいくという感じで二人でこう補い合っているという面もあると思います。ムンジェイン大統領が今回その知日派のイナギョンさんを日本に送り込んだということは関係改善に向けた私は大きなシグナルだと思いますね。」

小川彩佳「懐に入っていくスタイルが雪解けを誘うのかどうか、明日、安倍総理と会談ということになります。」

このトピックに当てられた時間は 421 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・国会論戦：結論→問題あり

小川キャスターの「続いては国会です、連日台風 19 号の被害をお伝えしている中で現在、国会では主にこうした 3 つの問題が焦点になっています、まずこちらです。野党議員が政府に事前通告していた質問内容が外部に流出したのではという問題、そして菅原経済産業大臣が地元の有権者に贈答品を贈っていたとされる問題、更にホルムズ海峡の周辺に自衛隊の護衛艦などを独自派遣する方向で検討しているという、こちらの 3 つの問題なんですが、今日の国会ではこうした問題についてどんな議論があったのでしょうか。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

テロップ「質問”事前漏えい”」

"森ゆうこ（国民民主党参院議員）「国会議員の発言の自由、それを守る憲法、そのものに対する挑戦であると、第三者に質問前に伝わってしまうというのは本当にあの、恐ろしいことだな、と。」

ナレ「怒りを顕にするのは国民民主党の森ゆうこ参議院議員、森議員は先週 15 日の参議院予算委員会のために政府側に通告していた質問内容が事前に第三者に漏洩したのではないかと主張しています。森議員といえば。」 "

"森裕子(おとし 12 月)「認可取り消すべきではないですか、おかしいじゃないですか、そんなの。どこに一点の曇りもないんですか、どこに全てオープンになっているんですか。」

ナレ「加計学園などで森議員は舌鋒鋭く政府を追求してきました。この発端は森議員が 15 日の予算委員会で参考人として呼んだ、民間有識者に対し内閣府の担当者が事前に質問内容を伝達、更にその有識者は知人の大学教授に森議員の質問内容を伝えたということです、大学教授は予算委員会前日の 14 日に自らが出演するインターネット番組で森氏の質問内容などについて批判したのです。そもそも質問通告とは閣僚らが正確な答弁をするために質問者が事前に質問内容を政府側伝えることが慣例となっているのですが、」 "

"安倍総理(衆院予算委員会・2 月)「それはちゃんと通告をしていただかなければですね、これは答弁することはできません。」

小泉進次郎環境相（衆院予算委 11 日）「どのような質問をされるかということについての通告は受けておりません。」

ナレ「事前に質問通告がされていないことを理由に答弁を拒否する閣僚の姿も。」 "

ナレ「森議員の質問内容が事前に漏れたことについて政府側は第三者の漏えいに直接関与していない、と主張していますが、野党側は国家公務員の守秘義務違反であり質問権の侵害などと主張、今日の委員会でも担当大臣に詰め寄ります。」

"今井雅人（「立国社」会派、衆院議員）「内閣府から情報が漏れたということはないと断言していただけますか。」

北村誠吾（地方創生相）「内閣府から通告内容が漏洩した事実はないということを確認しておりますから、責任問題が生じたときには責任を取ります。」 "

ナレ「北村地方創生担当大臣は内閣府から大学教授への漏えいは確認されなかったと強調し、漏えいの実事が書くにされた場合自ら責任を取る考えを示しました。」

"ナレ「国会では更に別の問題も

テロップ「地元有権者に贈答品」 "

"本多平直（立憲民主党衆院議員）「練馬区に住んでいる 110 人にメロン、カニ、冬はみかん、たらこ、筋子、配っていたんじゃないですか。」

菅原一秀経済産業大臣「確認をするように、今指示を事務局にしたところですよ。」

本多平直「すっとぼけたこと言わないでくださいよ。安倍晋三先生にはローヤルゼリーを大で、塩崎先生にはローヤルゼリーを小、こんな判断、秘書ができるんですか？」

"ナレ「菅原経済産業大臣が過去に地元の有権者などにメロンやカニなどを配ったとされる問題、野党側は事実であれば公職選挙法違反だと追及しています。」

安住淳（立憲民主党国対委員長）「たった一つの委員会だけはやらないでくれとあっちから頼まれていまして、それが経済産業委員会なんです、やっぱり大臣かくしと言われても否定できないのではないのかと。」

ナレ「菅原大臣が出席する経済産業委員会は今日、定例日にもかかわらず、与党側が菅原大神の外交日程を理由に開催を見送り野党側は強く反発、明後日委員会を開くことで与野党が合意し、野党側は引き続き追及する方針です。」

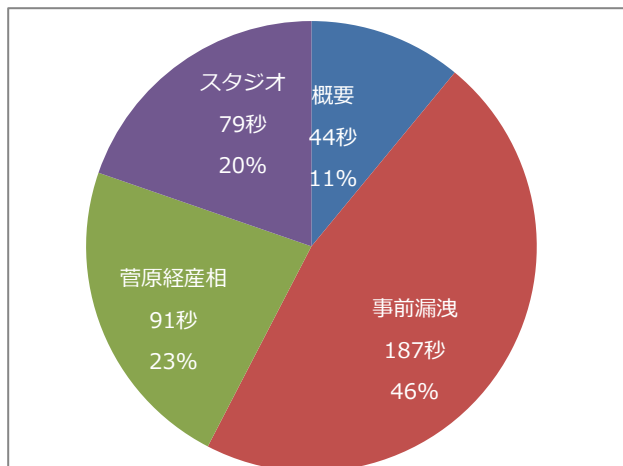
VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「今日国会で議論があったものの中で、質問内容が流出してしまったのではという問題についてはそもそもその答弁を作成する際に、官僚が無理な深夜残業をしていたのではないかということだったりですとか、森議員の質問内容がどうだったのか、といったことなど、様々な方向に波紋を広げているんですけども、今日お伝えしきれないんですが、星さんが注目するのはどういったことですか。」

"星浩「まずこれ質問内容が流出していたらこれ大問題ですから真相解明してもらいたいと思いますね、その上で最近ちょっと気になるのは政府側の答弁で通告がないのでお答えできませんっていうケースが多くなっているということなんです。まあもともとですね国会の議論というのは政治家同士が丁々発止の議論をする場所ですので、そんなに細かいところを突く場所ではないんですね。例えばホルムズ周辺の自衛隊派兵についても細かい質問通告をして官僚が答弁を作って閣僚が読み上げるというのではまったくその討論が形骸化してしまいますよね、やはりここはですね質問通告はふわっとしたものでいいので政治家同士が大所高所から真剣勝負の議論をするという国会に一度戻してもらいたい、そういう気がしますね。」

小川彩佳「国会改革につながるかどうかということですね。」

このトピックに当てられた時間は 401 秒で、概要を伝える場面、質問漏洩を取り上げた場面、菅原経産相の問題を取り上げた場面、VTR を受けてのスタジオでのやり取りに大別され、それぞれの時間配分及び比率は以下の通りであった。



森議員の質問の事前漏洩については VTR で「加計学園などで森議員は舌鋒鋭く政府を追求してきました。こ

との発端は森議員が 15 日の予算委員会で参考人として呼んだ、民間有識者に対し内閣府の担当者が事前に質問内容を伝達、更にその有識者は知人の大学教授に森議員の質問内容を伝えたということです、大学教授は予算委員会前日の 14 日に自らが出演するインターネット番組で森氏の質問内容などについて批判したのです。」と伝えられていたが、実際に大学教授が 14 日に出演したインターネット番組で質問内容などについて批判していた場面はまったく取り上げられておらず、また、その大学教授の見解や認識も紹介されておらず、質問の事前漏洩の事実は VTR からは確認・検証できなかつたが、森議員らの批判がさも事実に基づいているかのような番組の構成となっており、公平性という観点からは問題のある作りとなっていた。そうした点から放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に照らして問題があるといえる。

・林鄭月娥行政長官の進退：結論→特に問題なし

ナレーションによって「イギリスのフィナンシャル・タイムズ紙は 23 日、中国政府が香港政府の林鄭月娥行政長官の更迭を検討していると伝えました。しかし中国外務省はこれを政治的なデマとして即座に否定、引き続き林鄭長官を支持する姿勢を明確にしています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 25 秒で放送法上は特に問題は見られなかつた。

・香港政府が逃亡犯条例を正式撤回：結論→特に問題なし

ナレーションによって「香港政府は四ヶ月以上続く抗議活動のきっかけとなった逃亡犯条例改正案の正式撤回を宣言しました。ただ、市民の要求は拡大していて混乱が収束する見込みはありません。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 19 秒で放送法上は特に問題は見られなかつた。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月24日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：菅原経産相の公選法違反疑惑、日韓関係		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風19号、復旧に向けた動きも</li> <li>・災害ゴミで火災の恐れ</li> <li>・菅原経済産業相の公選法違反疑惑、元秘書の証言</li> <li>・日韓関係             <ul style="list-style-type: none"> <li>日韓首相会談が開催される、関係改善の分岐点？</li> <li>観光への影響深刻、大阪→ソウル間の航空券が1000円台に</li> <li>経済界からは関係改善求める声も</li> </ul> </li> <li>・ハロウィーンで東京都渋谷区長「緊急会見」</li> <li>・お笑い芸人・徳井義実氏が経営する会社、過去9年間にわたり期限内に法人税を納付せず</li> <li>・英国でトレーラーに39人遺体、中国人か</li> <li>・五輪マラソン、震災被災地での開催案が浮上</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菅原経産相の公選法違反疑惑→結論：問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「続いてお伝えしますのは、菅原経済産業大臣の新たな疑惑です。今日発売の週刊誌が報じたのは、菅原大臣の秘書が地元の後援者に香典を持参したということなのですね。事実であればこれ公選法に触れる可能性があります、こうした中元秘書が私たちの取材に応じました」というコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「今日発売の週刊文春、写真に写っているのは菅原大臣の公設秘書とされる男性です。記事によりますと、先週菅原大臣の地元であります東京都練馬区で行われた後援者の通夜に出席し、香典を持参したとのこと。公職選挙法では議員本人が吊問のために持参するものを除き、選挙区内での香典は寄付行為に当たるとして禁じられています。この新たな疑惑について今朝菅原大臣は」</p> <p>記者「香典を配っていたとの報道がありますが事実でしょうか。ご自身の言葉で説明されないのでしょうか」</p> <p>ナレーター「こうしたなか、12年前まで菅原氏の秘書を務めた人物が今夜取材に応じました」</p> <p>元秘書の男性「(香典は) ほぼ毎日のようにあったような気がします。秘書が持っていきます。本人はいきませんよ。(金額は=検証者注) 5000円から上は2、3万とか」</p> <p>記者「(香典を持参する相手や金額については=検証者注) 誰が決めるのですか？」</p> <p>元秘書の男性「それは菅原先生が決める以外ないですね。毎回「この香典はいくらにしますか」みたいな。”衆議院議員 菅原一秀”のハンコを押して「菅原一秀からです」と言って本人の名刺と一緒に渡す。まずいだろ</p>		



うと思うんですけど、そんなこと言ったら「翌日からもう来なくていい」「首だ」となってしまうので、怒鳴られるので」

ナレーター「菅原大臣をめぐっては、2006年から7年に選挙区内の有権者にカニやメロンなどを配った疑惑も指摘されています」

今井雅人衆院議員（「立国社」会派）「これ事実だとすると、明らかに公職選挙法に抵触する事案だと思いますけれども」

菅原経産相「公選法や政治資金規正法等に関わることはないというふうには認識を致します」

今井衆院議員「有権者の皆さんに金品を渡したことはないということによろしいですか。」

菅原経産相「そのようなことはございません」

本多平直衆院議員（立憲民主党）「(選挙区の)練馬区に住む110人にメロン、カニ、冬はミカン、タラコ、筋子を配っていたのではないですか」

菅原経産相「いただいたリストをしっかりと確認したいと思います。」

杉尾秀哉参院議員（立憲民主党）「確認はできましたでしょうか」

菅原経産相「議員会館と練馬の事務所は全て探しましたが、いただいたリストは見当たらなかった。配ったかどうかも含めてその資料そのものがございませんでした」

杉尾参院議員「資料の問題じゃありません。木曜日（10月10日）の委員会では今井議員が真っ先に聞いたんですけど、その時には「金品は渡したことない」と断定的に言っているんですよ」

菅原経産相「金品と言え、通常は現金とかそういうものかなと思って、「それはありません」と答えました」

ナレーター「取材に応じた元秘書は次のように証言しました」

元秘書の男性「すべては本人の指示なので。みんな何でも細かいところまで本人の指示なので」

記者「カニやメロンも代議士本人の指示だったと」

元秘書の男性「もちろんもちろん、横に居ましたから。今までの贈答先のリストを見ながら読み上げて、この人カニね、イクラねとか」

ナレーター「一連の疑惑について菅官房長官は？」

菅義偉官房長官「政治家として大臣自身において、必要な説明をされるべきものと考えています」

ナレーター「野党側は？」

安住淳衆院議員（立憲民主党国対委員長）「本人も「それが事実でない」と言うのであれば、事実でないなりにきちっと立証をして答えなければならないと思います。十分、こちらが満足いく回答がない限り、国会が正常化することはないと」

ナレーター「有権者におカネやモノを配る行為については過去にも厳しく追及されています。この国会でもこんなやり取りが」

本多衆院議員「選挙区の方に物配るのもうやめましょうよ。”うちわ”配って辞めた大臣もいるんですよ。」

ナレーター「うちわで辞めた大臣と言え」

松島みどり法相（※当時）「地元の盆踊りなどのイベントの際に配布いたしました。」

蓮舫参院議員「配布したのは分かっているんです。これは何ですかと伺っているんです。」

松島法相（※当時）「活動報告や政策などを印刷して配るそのような配布物だと」

蓮舫参院議員「これはうちわですね？」

松島法相（※当時）「うちわと解釈されるのなら、うちわとしての使い方ができると」

ナレーター「2014年、当時の松島みどり法務大臣が自身のイラスト入りのうちわを選挙区内で配布したことが寄付行為だと追及されました」

松島法相（※当時）「私自身、法に触れることはしたとは考えておりませんが、とにかく私の問題で国政を停滞させてはいけません」

ナレーター「結果、松島氏は辞任しました。更に議員辞職に追い込まれたケースも、2000年小野寺五典衆院議員が有権者に選考を配ったとして公職選挙法違反に問われ、議員辞職したうえで公民権停止などの略式命令を受けました。政府・与党内には菅原大臣の対応次第では大臣続投が難しくなるとの見方があります。」

与党幹部「事実であれば完全にアウトだな。もう時間の問題でしょ」

自民党中堅議員「もし本当なら大臣としてよりも国会議員としての生命も危ぶまれる」

ナレーター「今日夕方、菅原大臣は記者の問いかけに対して」

菅原経産相「明日、国会で説明をします」

ナレーター「菅原大臣は明日衆議院の経済産業委員会に出席をし、質疑が行われる予定で、野党側は徹底追及をする構えです」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

小川キャスター「しかし菅原大臣、疑惑の渦中にありながら、つい先週秘書が香典を渡していたと。これが事実とすれば、ひときわ脇を締めなければならないところ何をしていらっしゃるのだらうと思ってしまいますが、過去には線香を配って議員辞職、さらには公民権停止というケースもありましたが、改めて何が問題なのでしょう」

星キャスター「公職選挙法という法律は、地元の人たちに金品を配ることを厳しく規制しているのです。なぜかと言えば、A候補がたとえば3万円香典を持ってくれば、それに対抗してB候補は5万円とどんどんエスカレートして行って、金権腐敗政治につながってこれが民主主義の根幹を揺るがすという考え方なのです。そういう点からすると、今回の菅原大臣については報道の通りだとすれば、これは閣僚辞任に値すると思います。自民党の幹部に今晚取材をしていますと、明日の委員会できちんと説明をできないならば辞任もやむを得ないかもしれないという反応でした。」

小川キャスター「聞いている側が納得できる説明かどうか、明日の委員会が注目ですね」

このトピックに当てられた時間は511秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓関係→結論：問題なし

小川キャスターの「韓国のイ・ナギョン首相と安倍総理との注目の会談が行われました」のコメントに続く、山本キャスターの「会談のあと、イ・ナギョン首相は充実した会談ができたと言いましたが、冷え込みが続く日韓関係に改善の兆しがあるのでしょうか」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレーター「ムン・ジェイン政権のナンバー2のイ・ナギョン首相、ムン大統領からの大事な親書を抱え総理官邸に入りました。韓国の新聞社の特派員として東京で勤務したことがある知日派、総理との握手の際にも終始

柔らかい表情です。会談は当初の予定を超え 20 分以上になりました」

イ・ナギョン首相「韓日両国が知恵を集めて難関を克服していくことができると信じている。」

ナレーター「日韓関係をこのまま放置できないと、二人は危機感を共有しました。ただ難しいのは最大の懸案・徴用工問題をどう解決するかです。去年 10 月、韓国最高裁が日本企業に賠償を求める判決を出して以来、悪化の一途をたどる日韓関係、今日の会談で総理は「判決が国際法に違反している」と改めて指摘し、韓国側にこう求めました。「韓国には国と国との約束を遵守することにより、日韓関係を健全な状況に戻すきっかけを作ってもらいたい」、これにイ・ナギョン首相は「韓国は請求権協定を尊重し遵守してきた。今後もそのようにするだろう」、溝のある両者の主張、時間の制限もありこれ以上議論は深まりませんでした。」

記者「親書は渡されましたか？」

イ・ナギョン首相「そうです」

記者「どのような内容が？」

イ・ナギョン首相「それはわかりません」

ナレーター「ムン大統領からの親書は、日韓関係の発展を希望する内容だとされております。イ首相は会談に手ごたえを感じたようです。」

イ・ナギョン首相「限られた時間でしたが、相当充実した話し合いができました」

ナレーター「韓国政府の高官も会談をこう評価しました」

韓国政府高官「一つの分岐点になった。今後、日本との協議が加速することを期待する」

ナレーター「強硬姿勢から関係改善に舵を切ったようにも見える韓国政府、専門家はその背景の一つをこう分析します」

平井久志氏（共同通信社客員論説委員）「今回の日韓関係の悪化によって国内の経済はひどい打撃を受けているということは韓国側にはないのですが、これが長期化すれば経済に悪影響が出ることは間違いないので、これ以上悪化させてはいけないという内外の要求があったんだろうと思いますね」

ナレーター「経済への影響が拡大することへの懸念、先月日本を訪れた韓国人旅行者の数は、去年の同じ月と比べて 58%も減少しました。日本と韓国を結ぶ航空路線も減便や欠航が相次いでいます。格安旅行サイトを運営する都内の会社では」

登山幸典氏（エアプラス・仕入れ担当）「大阪・ソウルの往復で 1200 円～2000 円くらい」

ナレーター「大阪からソウルを結ぶ航空券の中には、税金などを除いた本体価格が 1200 円というものまで。旅行を控える動きが値崩れに繋がっているのです」

登山幸典氏（エアプラス・仕入れ担当）「もともと LCC は韓国から日本に来られるお客さんが 8 割、9 割を占めていますが、いまそれが 1 割、2 割程度になって、席が空いているので（LCC 各社は）一人でも日本からのお客様を乗せて飛ばしたいと。それが価格に出ているということです」

ナレーター「今日、イ首相と懇談した経団連の中西会長、関係改善を求める経済界の声をこう代弁しました」

中西宏明氏（経団連会長）「経済界についてはサプライチェーンを一緒に共有しているという大変重要な二国間関係だと思っています。イ首相には関係改善について経済界も色々対応しますけれども、ぜひご尽力いただきたいと思います」

VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「経済への影響が広がっている中ですが、今回このイ・ナギョン首相の来日に際してですが接遇の仕方、対応の仕方を見ている、これまでの強硬一辺倒からじわり態度を軟化させているようにも見えますが」

星キャスター「輸出管理の強化を始めた当初は、韓国側の方が経済的にダメージが大きいと見られており、実際そうだったのですが、それが長引くにつれて日本にも影響を与えていますよね。旅行者が減ったりして。日本の経済界からもそろそろ関係改善に歩みだしてほしいとの期待もあり、そういう背景で日本側も少しずつ歩み寄りに動き始めているという状況だと思いますね。」

小川キャスター「ただ先月の世論調査を見ている、韓国への輸出規制強化を支持するという声が 59%と韓国に対する強硬姿勢には一定の世論の支持があるわけで、今後の進め方は難しいところもありますね」

星キャスター「とりわけ徴用工問題では日本はなかなか譲歩できないと思います。ただこれも知恵の絞り方次第では、たとえば韓国の国内で賠償金を払うシステムを作って、それに日本が将来的に協力をしていくという話はある話なんです。条約だとか過去の経緯が関わるわけですから、お互いのプロ、外務省のプロがいくつかの選択肢を作って、そのうえで閣僚や首脳同士で詰めていく形がいいですね。」

小川キャスター「そして先ほど新しい情報が入ってきまして、帰国する飛行機の中で記者団に対して、安倍総理との会談でムン大統領との首脳会談が開かれればよいと口頭で伝えたようです、それに対して安倍総理は返答はせずに話を聞いていたということですが、ムン大統領との首脳会談が開かれればよいとイ首相から口頭であったと」

星キャスター「首脳会談は実際には 12 月に北京で開かれることになると思うんですけど、いずれにせよ話し合いの機運が生まれてきましたので、どんどんこれからも話し合いを続けてもらいたいと思いますね」

このトピックに当てられた時間は 478 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

#### 検証者所感

##### ・日韓関係

日韓関係をめぐる VTR に続いて、スタジオの小川キャスターが「ただ先月の世論調査を見ている、韓国への輸出規制強化を支持するという声が 59%と韓国に対する強硬姿勢には一定の世論の支持があるわけで、今後の進め方は難しいところもありますね」とのコメントを発していたが

このように世論調査の結果に基づいて論評を行う場合、視聴者の検証可能性を担保するため、論拠とする世論調査の少なくとも「調査者」「設問」ならびに「選択肢」にあたる情報の明示が求められるのではないかと。

世間一般のテレビ局・新聞社等の報道機関が実施する世論調査に対する信頼度の高さを逆手に取るような形で、制作者側が意図する方向へと視聴者を誘導する手段として世論調査の数字が用いられることは容易に想像できる。今後とも注視が必要であろう。

なお、今回の小川キャスターのコメント内容は下記の世論調査結果と一致しており、虚偽のソースに基づくものではないことは付言しておく。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

2019年9月7日・8日実施 JNN 定期調査

設問「政府は、これまで「ホワイト国」と呼ばれてきた、輸出管理上の最優遇国「グループA」から、韓国を除外しました。あなたは、韓国を除外したことを妥当だと思いますか、思いませんか。」

回答「妥当だと思う」

[https://news.tbs.co.jp/newsi\\_sp/yoron/backnumber/20190907/q2-1.html](https://news.tbs.co.jp/newsi_sp/yoron/backnumber/20190907/q2-1.html)

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月25日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：菅原経産相の公選法違反疑惑		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨続く関東、千葉県で記録的な豪雨</li> <li>・五輪マラソン競歩札幌開催、IOCvs 小池知事</li> <li>・菅原経産相の公選法違反疑惑</li> <li>・閣僚資産トップは小泉環境相：本人の資産はゼロですべて夫人の滝川クリステル氏のもの</li> <li>・チュートリアル徳井さん、追徴税額 1 億円超</li> <li>・北陸新幹線、全線で運転再開</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・東電から原発事故賠償金を 5 億円詐取のグループ逮捕</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菅原経産相の公選法違反疑惑→結論：問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「続いては、選挙区内の有権者に金品や香典などを渡していた菅原経済産業大臣ですが、昨日までは国会内で説明すると話していましたが、今朝になって突如辞任を表明しました。」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>菅原経産相「任期途中で経済産業大臣の職を辞するという事は、慙愧に堪えない思いではありますが、お詫びを申し上げたいと思います。」</p> <p>ナレーター「今朝、硬い表情を崩すことなく辞任を表明した菅原氏、菅原氏を巡っては自らの地元の有権者に対してカニやメロンなどの贈答品を配ったとして野党側が追及していました。」</p> <p>菅原経産相「公職選挙法や政治資金規正法などに抵触するような内容は今のところ確認されていない」</p> <p>ナレーター「菅原氏は疑惑を否定してきましたが、昨日文芸春秋が菅原氏の公設秘書が地元の有権者の通夜に参列し、香典を渡していたと報じました。公職選挙法では政治家本人が参列し、手渡す場合などを除き選挙区内で香典などを渡すことは禁じられています。」</p> <p>菅原経産相「10月17日の夜の通夜がございました。(台風19号の閣僚会合で)私がおその日には行けず、結果として秘書が香典を出した。そして翌日にそのことを確認せず、私も香典をもっていっておりました、(遺族から)これ(=香典)が1つ戻ってきたのですが、そこで改めてこの事実関係を後で知ったということでありまして」</p> <p>ナレーター「菅原氏は会見で秘書が香典を渡していたことを認めました。無派閥ながら先月の内閣改造で初入閣を果たした菅原氏、関西電力の幹部らが福井県の高浜町の元助役から多額の金品を受け取っていた問題では」</p> <p>菅原経産相「言語道断の事態であって、その方々が会見をしても本当にそれが真実なのかどうか分かりません。」</p>		

ナレーター「と、その経営責任を明らかにするよう求めていました。一方、自らの疑惑については」

ナレーター「(菅原氏のブログの文言を引用して) 明日、国会でお話をする所存である」

ナレーター「昨夜、自身のブログにこう記していた菅原氏」

記者「辞任はいつ頃お決めになられたのですか？」

菅原経産相「今朝です。やはり一晩考えまして」

ナレーター「就任から1か月半のスピード辞任となりました。後任には元地方創生担当大臣の梶山弘志衆院議員が起用されています。」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「昨日までは国会で説明すると言っていた菅原大臣ですが、今朝になって一転辞任、一夜のうちに何があったのでしょうか」

星キャスター「今日、(衆院経済産業＝検証者注)委員会があるのですが、野党が新たに報道されている以外の新たな疑惑についても追及する動きもあったので、これはもう耐えられないということですね。菅原さんは菅官房長官の直系なのですが、菅さんもこれは辞任やむなしということで、最終的には更迭と言うことになりました。野党側は更に追及の構えということですが、国会で経緯を説明する必要があると思いますね」

小川キャスター「それにしても、2012年12月に第2次安倍政権が発足してから、不祥事や失言で辞任した閣僚を見てみると菅原氏で8人目ということになります」

星キャスター「安倍さんはその(閣僚が不祥事や失言で辞任する＝検証者注)度に任命責任は自分にあると言っているのですが、であればもっと深刻に受け止めてほしいと思いますね。今回の菅原さん、韓国の貿易問題とか経産省は非常に重要な問題を課抱えているわけで、そのポストに任命したという責任は重いと思いますね。長期政権の緩みという声が出てもしようがないと思いますので、ここはタガを締めなおす必要があると思いますね」

小川キャスター「任命責任があると仰いながら、毎年一人二人の閣僚が辞任しているわけですからね」

このトピックに当てられた時間は285秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感  
特になし